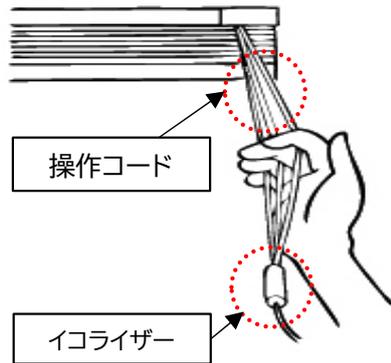


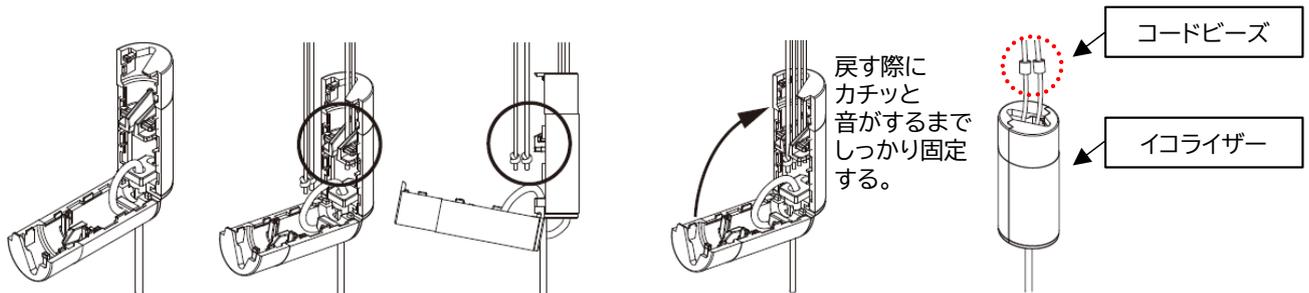
◆【重要】ハニカムaSsu 定期メンテナンスのお願い

■定期的に操作コードの絡み(ねじれ)を整える(コード・上下コード・ツインコードタイプ)



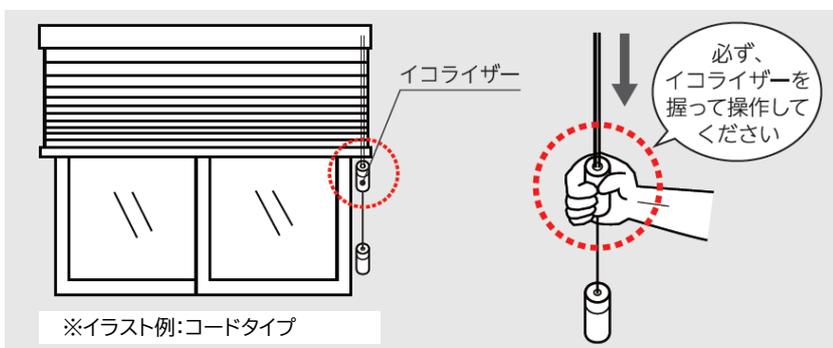
開閉を繰り返すうちに、操作コードに絡み(ねじれ)が生じる場合があります。その際は、髪をとかすように操作コードの絡みを整えてください。コードの絡みが多い状態で使用し続けると操作が重くなったり、コードが摩耗しコードが切れてしまう可能性があります。お客様が安心してご使用いただくために定期的なコードの絡みを整えるメンテナンスを実施するよう必ずご説明ください。

○操作コードの絡み(ねじれ)が解消できない場合は、イコライザーを外して操作コードの絡み(ねじれ)を整えてからご使用ください。



- ・コードビーズは、イコライザーが外れた時に操作コードが上部レール内に入ることを防止します。
- ・コードビーズは、イコライザーより上に露出するようにセットしてください。

○コードタイプ・上下コードタイプ・ツインコードタイプの操作方法について



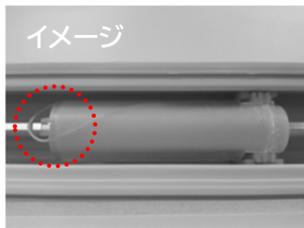
コードタイプ・上下コードタイプ・ツインコードタイプのイコライザーは、一定の荷重が加わるとイコライザーが外れる安全対策品です。その為、操作時に少し乱暴に扱うとイコライザーが外れる場合があります。操作をするときは、必ずイコライザーを握って操作をするようお願いします。

■ループコードの操作がスムーズでない、開閉時に傾きが生じた場合の対応

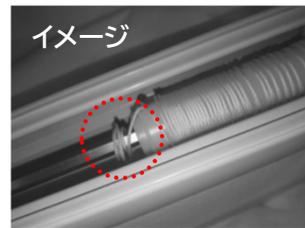
ループコードタイプは、操作コードを回すことによってスクリーン内のコードが上部レール内のスプール(糸巻き部)に巻き取られ、ブラインドを上げ下げすることができる構造となっております。不意に下部レールを持ち上げたり、障害物などが干渉すると内部コードにたわみが発生し上部レール内のスプール(糸巻き部)にコード絡まりや脱落等の不具合が生じる可能性があります。



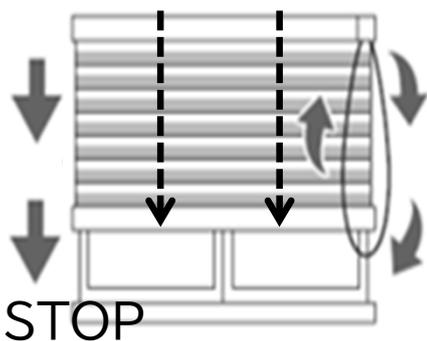
(開閉時:生地への傾き)



(上部レール内:スプール<糸巻き部分>からコード脱落、絡まり)

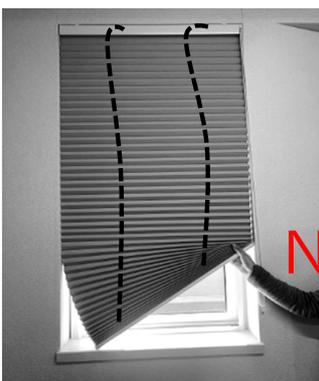


①操作して生地を下ろしていくと、巻かれていた内部のコードが降りはじめ、ブラインドが下がります。均等に巻かれているコードが降りることで、生地がまっすぐ下に下がっていきます。生地が下まで降りるとロックがかかり余分な操作を防止します。

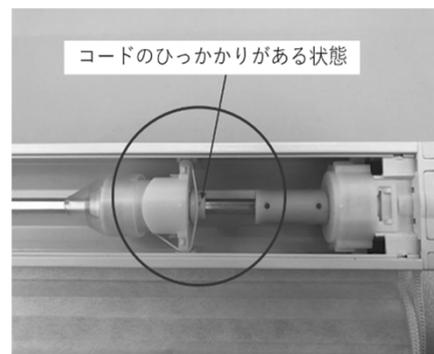


②【重要】生地を降ろした状態で下部レールを持ち上げたりすると本来まっすぐのびている内部コードが本体の中でたわんでしまいます。

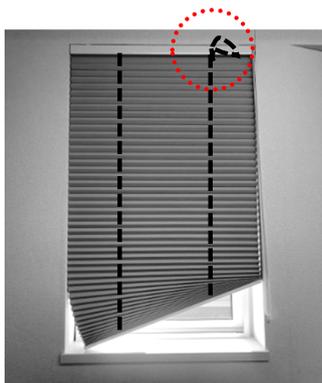
※生地の下がるところに障害物を置いたり手で持ち上げないでください。



③【重要】たわんだ状態のコードがスプール(糸巻き部)から飛び出して、スプールの外でコードのひっかかりや絡まりが発生する恐れがあります。操作時に重く感じた場合、無理に引っ張らないでください。コードが切れる可能性があります。

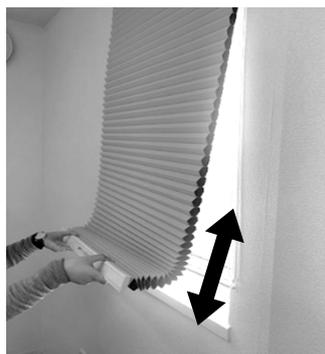


④内部でひっかかりができてしまうと、下の画像のように、操作した際にレールにひっかった長さ分の傾きが生じてしまいます。



⑤手で下部レールを持ち、そっとレールを上下に動かしてみたり、トントンと軽く引っ張ると解消される場合があります。

※あまり強く引っ張ったりすると内部コードに傷がついたり、絡まりを悪化させてしまうのでご注意ください。



⑥何度か昇降の動作確認を行い、問題なく昇降ができれば、操作の不具合が解消された状態といえます。傾きが解消されない場合は、本体を取り外して作業が必要となりますので、当協会にお問い合わせください。

